学習項目	学習活動・内容	●指導上の留意点	◎評価の観点と方法
導入 0～	本時の学習目標を確認する オリジナル電気自動車を創作しよう ○『模作』⇒『改作』⇒『創作』における『創作』であること ○設計図の記入方法を確認する	●今までの学習では、テーマに合わせた改良設計を学び、ギアの組み合わせ方を工夫したことを思い出させる。 ●創作では、テーマを自分で設定することが大切であることを理解させる。 ●設計図では、テーマ・制約条件・構成図・振り返りの記入が必要であることを伝える。	
展開 15～	○テーマを設定する 【例】 ・急な坂道が登れる車をつくる ・クラスで一番速い車をつくるなど ○制約条件を設定する 【例】 ・乾電池を1つだけ使用する ・一人分の材料でつくる ○創作する	●テーマを設定してから、製作を始めるように促す。 ●テーマを設定することが難しい生徒に対して、前時までのテーマを思い出させるように助言する。 ●制約条件を与えるようにする、 例) 製作人数（1人-作品 or 2人-作品） 例) その他（乾電池の本数・材料の制限など）などを自分で設定させる。 ●製作しながら、タイムを測ったり、坂道を登らせたりなど製作進度に合わせて、実験を行うよう促す。	◎省エネルギーや使用者の安全などに配慮して設計・製作しようとしている。 【関・意・態】（ワークシート） ◎新しい発想を生み出し活用しようとしている（関心・意欲・態度） 【関・意・態】（ワークシート） ◎製作品の使用目的や使用条件を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから設計要素を比較・検討した上で、製作品に適したエネルギーの変換方法や力の伝達の仕組み、構造や電気回路などを決定している。 【創・工】（作品・ワークシート）
まとめ 45～	○1日目の製作を自分で振り返る	●今日の製作状況を設計図に記入し、次の製作につなげられるように促す。	